

| | | | | | | | |
|---|-----------------------|-------------------------------|--------|-------------------------------|-----|--------------|-----|
| 団 体 名 | | あさひかわサケの会 | | | | | |
| 代 表 者 | 住所 | 〒078-8302 旭川市緑が丘2条1丁目1番23号 | | | | | |
| | 氏名 | 寺島 一男 | 電話 | 0166-65-1940 | FAX | 0166-65-1940 | |
| 事務局等 | 住所 | 〒071-8144 旭川市春光台4条1丁目6番11号 | | | | | |
| | 氏名 | 福地 徳次 | 電話 | 0166-54-2349 | FAX | 0166-54-2349 | |
| Eメール | fnjwp883@yahoo.co.jp | | ホームページ | http://motonr.net/salmon-kai/ | | | |
| 設 立 年 次 | 2013年 | | 会 員 数 | 152名 | | 会 則 | 有・無 |
| 活 動 資 金 | 役員 & 会員の拠出金, 寄付金, 助成金 | | | | | | |
| <p>☆設立(活動)目的</p> <p>1983年に大雪と石狩の自然を守る会が、シロザケ発眼卵孵化・飼育と稚魚放流市民運動を始めた。2009年大雪と石狩の自然を守る会による永年のシロザケ稚魚放流活動に対し、独立行政法人水産総合研究センターが「石狩川本流サケ天然産卵資源回復試験50万尾放流3ヶ年計画」を実施した。この計画実施に呼応し、大雪と石狩の自然を守る会が「さけサポーターの会」を設立した。2013年6月「石狩川を野生のサケのふるさとに」というキャッチフレーズを掲げ、前身の「さけサポーターの会」を発展解消し、「あさひかわサケの会」が設立された。</p> | | | | | | | |
| <p>☆主な活動内容</p> <p>2009年から2011年の3ヶ年、独立行政法人水産総合研究センターが実施した「石狩川本流サケ天然産卵資源回復試験50万尾放流3ヶ年計画」によって、2011年秋から旭川市内の忠別川や愛別町内の愛別川で、サケが群れをなして遡上する様子が多くの市民によって確認されてきました。2013年秋をピークに確認できた遡上サケの個体数は減少してきていますが、本会（あさひかわサケの会）や旭川開発建設部の調査などで、減少傾向ながらも一定数の産卵床を確認してきています。特に2016年秋からの遡上サケは、ほぼ旭川産のサケ（野生魚）であることと見る事ができるものと考えられます。日本海の石狩湾から160kmも離れた旭川に、「サケが戻ってきていること」や「そのための河川環境の回復改善そして保全」の大切さなどを市民に拡げて行かなければなりません。そのため次の様な事業を行っていきます。</p> | | | | | | | |

☆近年の活動状況, 今後の活動予定等

- 実施期間 2019年7月から2020年6月
- 実施場所 室内学習会・講演会は旭川市神楽公民館を中心にして, 現地学習会は北海道内各地
- 参加者 旭川市民及び近郊市町村の市民など, イベント毎のチラシやメール等で周知する
- 実施内容 市民対象のサケガイド養成・現地学習会・展示会出展(みどりの回廊展, 神楽市民交流センター祭, C o C o D e 祭, 旭川まなびピア)・学習会講演会の企画実施・サケとばづくり講習会の企画実施・会員募集活動, 独自の河川環境調査活動(産卵床・ホッチャレ多作)など
- 具体的な活動 市民対象の展示会出展・行事企画実施・学習講演会等, 行事チラシの作成&配布・マスメディアによるPR, 関係行政機関へのdata提供, すべての行事内容を会員や関係行政機関へ周知し(会員へは会報等の送付, 一般市民へはSNSやマスコミ記事・市民広報誌掲載で案内), 当会が目標としている「石狩川を野生のサケのふるさと」の実現に向け, 会員の増員及び市民への普及啓発など実践的な活動を行っていきます。

☆表彰その他受賞等